

第75回 日本公衆衛生学会総会において BPプログラムに関する自由集会在開催されます！

NPO法人こころの子育てインターねっと関西

来る10月26日(水)～28日(金)に、大阪市で開催される第75回 日本公衆衛生学会総会 (<http://www.c-linkage.co.jp/jsph75/>) において、27日(木)18:30-20:30に、NPO法人こころの子育てインターねっと関西が企画しましたBPプログラムに関するシンポジウムが「自由集会」として開催されます。ぜひご参加ください。お申込みは、直接学会ホームページよりお願いします。

テーマ：「ママたちの非常事態」を救いたい！

－親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんがきた！”(BPプログラム)を中心に－

場所：大阪産業創造館 5階 研修室E

日時：10月27日(木) 18:00～20:00

発表者 鈴木恵美 静岡県磐田市保健センター 保健師
大羽みゆき 鳥取県倉吉市保健センター 保健師
他谷恵津子 特定非営利活動法人子育てネットワーク志賀「うりぼう」代表(滋賀県大津市)
坂本牧子 子育て・サークル応援グループ MaMa ぽっけ代表(広島市安佐南区)
原田 正文 大阪人間科学大学副学長、NPO法人こころの子育てインターねっと関西代表
コーディネーター
河原啓二 姫路市医監、小児科医、NPO法人こころの子育てインターねっと関西 監事

シンポジウム概要

今年1月に『ママたちの非常事態!?!』というNHKスペシャルが放映された。あまりの反響の大きさに、異例の速さで3月にもPart2が放映された。このように現在の子育て現場は危機的な状況であり、いっどこで子ども虐待が起こっても不思議ではない状況が広がっている。一方では、育児ストレスから来ると考えられる産後うつ病も深刻化している。公衆衛生において、母子保健は相対的に下火になっているが、「ママたちの非常事態」を救うことは、公衆衛生の緊急な課題ではないだろうか。

そんな中10数年前からNPやCPSなどの親支援プログラムが広がってきた。2010年にNPO法人こころの子育てインターねっと関西が開発した「親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんがきた！”(愛称：BPプログラム)は、初めて育児をする母親と2～5か月の赤ちゃんと一緒に参加し、子育ての仲間づくりと子育て知識の学びを通じて育児不安の軽減と親子の絆づくりをめざす参加者中心型のプログラムである。参加者は年々増加し、昨年度は36都府県、150市区町で、587プログラムが実施され、6,820人の初めて子育てをする母親と赤ちゃんが参加した。

プログラム実施数の75%は自治体主催の開催だが、初めて子育てをする母親すべてにプログラムを届けることを目標としたり、なるべく多くの母親が参加できるような工夫をするなど、各自治体がプログラムを活用して戦略的に子育て支援を実施している。

本自由集会では、BPプログラムの実践報告を中心に全国各地の子育て支援の取組みを持ち寄り、時代が求めている子育て支援策について集会参加者とともに考えたい。

実践報告は、すべての対象者にBPプログラムを届けるという目標を掲げた静岡県磐田市と鳥取県倉吉市の取組み、広島県の取組み及び2014年の安佐南区での広島8.20豪雨災害時のBPプログラム参加者間に生まれた絆について、滋賀県大津市の委託を受けBPプログラムを実施しているNPO法人の取組みなどを報告する。